

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

**\* 東京天文台第6代台長宮地政司氏の退職記念写真**

東京天文台第2代台長平山信のお孫さんである国立天文台名誉教授平山淳氏から提供された写真の中に表記の記念写真(写真1)がある。第6代台長宮地政司氏は昭和38年(1963年)3月31日に定年退職している。東京天文台が東京大学の研究所であった時には台長は教授の併任であったから、教授の定年で台長職をやめることになっていた。筆者は昭和36年3月1日に天文台に入ったから2年間は宮地台長のもとにいたことになる。



写真1 第6代台長宮地政司退職記念写真

この記念写真が撮影された場所は、昭和24年2月28日に竣工した本館(1)と呼ばれた建物の玄関である。東京天文台には大正10年3月31日竣工の立派な本館(写真2、3)があったが昭和20年2月8日未明に焼失していたので、この本館(1)が一番大きな建物であった。この建物には太陽物理部、天体掃索部、天文計算部が入っていた。

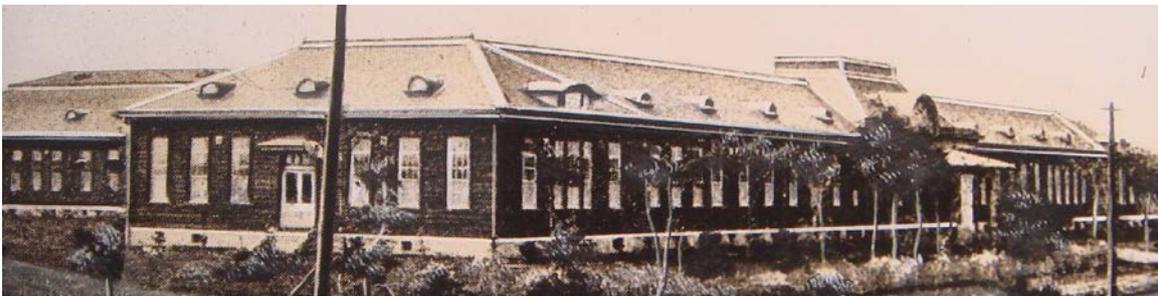


写真2 昭和20年2月8日に焼失した旧本館

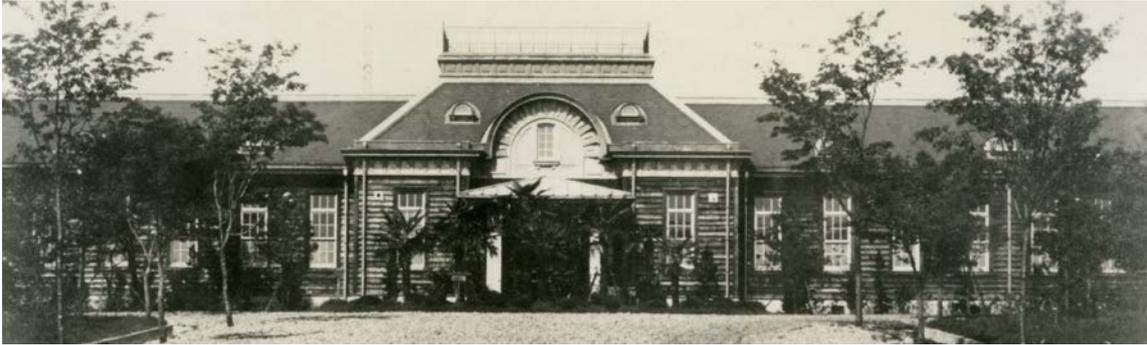


写真3 旧本館の玄関

この記念写真は、宮地台長の退職記念写真だから前列中央には宮地さん、その右隣には次期台長の広瀬さんが移っている。この写真1では人物の同定が難しいので、少し拡大して、筆者のわかる限り名前を入れてみようと思う。まず左半分の拡大写真（写真4）、その写真に写っている人物の場所を示した図1を載せて人名を入れる。



写真4

図1で、番号に名前を入れてみた。1：澤渡規子、2：宮本昌典、3：清水いく、4：安田春雄、5：三輪会系主任、6：古畑正秋、7：佐藤友三、8：虎尾正久、9：斎藤国治、10：宮地政司、11：広瀬秀雄、12：香西洋樹、13：田中京子、14：上条市江、15：佐藤光子、16：内田尚子、17：大塚富美子、18：永田豊子、19：飯島重孝、20：高倉達雄、21：下保茂、22：XXXX、23：松波直幸、24：真鍋良之助、24（左）：森敬子、25：岡部巳喜、26：XXXX、27：山口チズ子、28：東康一、29：石田恵一、30：XXXX、31：引地信枝、32：山田寿子、33：関口直甫、34：松本惇逸、35：大塚和子、36：吉成正雄、37：森下博三、38：酒井駿

介、39：XXXX、40：北村正利、41：長根潔、42：安藤泰彦、43：小熊巖、44：武見正利、  
 45：加藤正、46：酒井照夫、47：河野節夫、48：内田正男、49：XXXX、50：牧田貢、51：  
 XXXX、52：宮沢敬輔、53：XXXX、54：古在由秀、55：守山史生、56：西恵三、57：XXXX、  
 58：岡本富三、59：XXXX、60：小野実

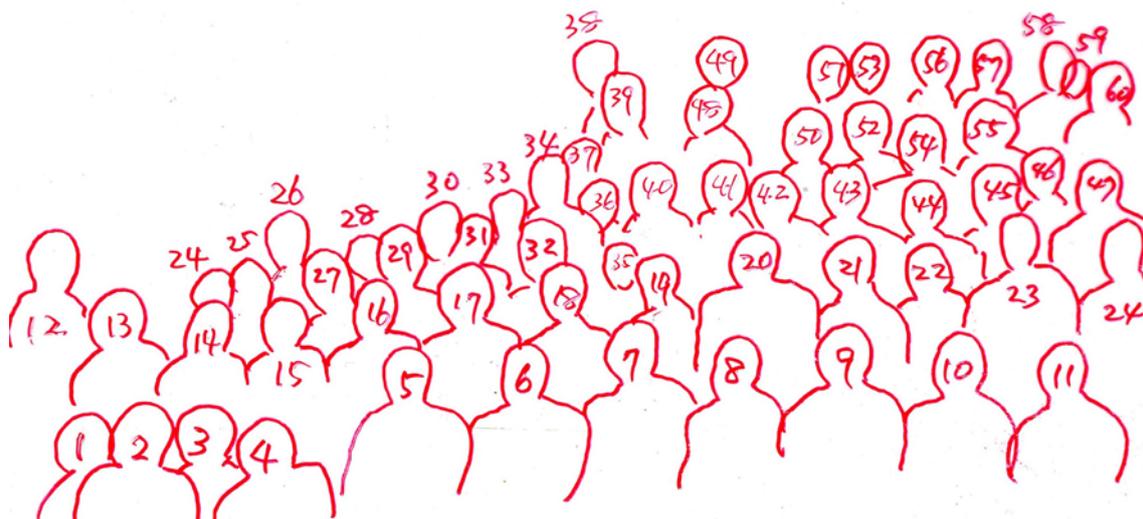


図 1

写真 1 の右半分の拡大写真が写真 5 で、人物に番号をつけたものが図 2 である。



写真 5

図 2 の番号に、わかる範囲で名前を入れる。61：布川銀次郎事務長、62：工藤房之助、  
 63：竹田吉雄、64：千場達、65：加藤亀三郎、66：欠番、67：大城義名、68：真鍋、69：

竹内端夫、70：崇地厚、71：岡崎清一、72：根道文子、73：早水国子、74：深須洋子、75：藤井繁、76：平山淳、77：小林宏志、78：石井久、79：伊勢朝夫、80：XXXX、81：中山重義、82：峰岸包房、83：三橋隆、84：岡崎清一、85：中村強、86：虎尾三春、87：渋谷五郎、88：欠番、89：XXXX、90：小熊巖、91：新美幸夫、92：渋谷暢孝、93：原寿男、94：XXXX、95：田村勇七、96：森田一郎、97：XXXX、98：小野実、99：入江誠、100：XXXX、101：XXXX、102：宮沢正英、103：矢島昭一、104：中込慶光、105：田中孝明、106：鈴木利和、107：清水一郎、108：名取正、109：浜名茂男



図 2

筆者は、昭和 38 年 3 月 31 日には東京天文台に就職していたが、岡山天体物理観測所にいた。それでもこれだけの人たちを同定できた。しかし、数人は同定が怪しい人もいる。

最近はこのような集合写真を撮ることがなくなった。この写真から 53 年を経ている。懐かしいではないか。やはり折に触れて撮っておくものだと思う。

この写真に写っている人の中の名前の不明な方の情報が寄せられることを期待している。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)